



成隣だより

令和4年1月11日
第9号
昭島市立成隣小学校
校長 星野 典靖

令和4年を迎えて

校長 星野 典靖

お子様とともに新たな目標や夢が広がり、寅年のすがすがしい令和4年をスタートされたことと思います。謹んで皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

日本の生活習慣の変化で、日常生活の中で和の心を感じるものが少なくなっています。しかし、新年を迎えるときに日本の良さを再確認することがあります。お節料理や初詣、テレビのお正月番組などで、和食、和服、和菓子、和紙、和楽器等の、昔ながらの和の文化に触れると何故か穏やかな気持ちになります。

コロナ禍の今ですが、凧揚げ、こま廻し、羽根つき、福笑い等の昔ながらの遊びをされたご家庭もあると思います。以前に比べるとこれらの遊びに興じる機会は減ってきているのではないのでしょうか。これらの遊びは、みんなで楽しみながら行うことでコミュニケーション力を高めることができます。子供からお年寄りまで楽しめる昔ながらの遊びは、これから改めて注目したい日本の伝統文化のひとつです。

また、和紙（日本の和紙技術）や和食（日本の伝統的な食文化）が、ユネスコ世界無形文化遺産に登録され、地域の生活との関係が深い「山・鉾・屋台行事」の伝統芸能も登録されています。どれも、日本の和の心と文化を次世代へ伝え、その行事に集う人々が和やかになり、人や自然と調和しながら平和に暮らしていくことの大切さを願っているものです。子供たちにも、私たち大人が、日々の生活の中で和の文化をしっかりと伝えていきたいものです。

3学期は1年間の教育活動の仕上げの学期ですが、今年も新型コロナウイルスの感染症拡大の不安がある中でのスタートとなりました。

本校は、都や市のガイドラインに従って感染症拡大防止対策を徹底し、リスクをできる限り低減しながら教育活動を進めてまいります。（東京都や昭島市近隣での感染状況により、予定を変更させていただくこともあると思います。その際は、できるだけ早くお便りやメール配信でお伝えします。）

様々な制約が生じる中ですが、どの学年・学級も、これまでの学習についてしっかりと振り返り、次の学年への準備をしていきます。特に6年生にとっては、これからの3ヶ月間が小学校生活の集大成となります。教職員一同、子供たちが意欲と自信をもって中学校に向かっていけるよう、支援してまいります。

以上、ご理解とご協力のほど、よろしく願い申し上げます。